

第1章

「未来へつなぐ」

副読本 10 - 11 ページ

年 組 番 名前

1

今日の学習をふり返りながら、自分の住む地域の災害に備えて、自分にな
 りができるかまとめましょう。

第1章 3 未来へつなぐ

大川小学校で起きたことを忘れず、かけがえのない命を守るために、私たちに
 はなができるのでしょうか。

覚えていてくれたら

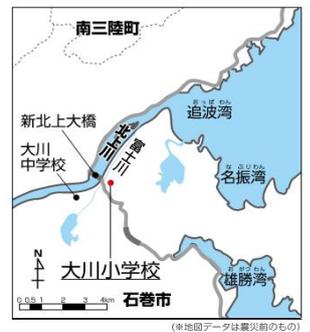
- 青い空
- 赤い屋根
- 緑の山
- 北上川のほとり
- 桜の下で食べた給食
- 図書室には絵本がたくさんあって
- 中庭では一輪車の練習
- 校庭の土俵で相撲大会
- あの冬には池のそばに
- ソーラーのツリーができたばかり
- 稲刈り
- 植樹
- 社旗
- シイタケ栽培
- 楽しく学び遊ぶ子どもたちと先生
- 地域の人たちに見守られて



東日本大震災では、東北地方をはじめとした太平洋沿岸の多くの地域に、津波
 による被害が発生しました。
 石巻市立大川小学校では、この津波により、児童74人と教職員10人が犠
 牲になりました。

学級活動

津波は北上川をさかのぼって、海から4
 km離れたこの場所にもおし寄せたのです。
 2階建ての校舎の屋根に達するほどの
 津波でした。
 卒業式の1週間前でした。



今日と同じ明日が来るとは限りません。
 いつもの景色、いつもの教室、
 「ただいま」や「ありがとう」
 友達、家族、町、……。
 けっしてあたりまえでないことを
 あらためて気づかされました。

私たちにできることはなんだろう。

かけがえのない命を守るために。
 未来へつなぐために。



自然に囲まれた大川小学校（被災前）



校舎を囲む桜並木（被災前）

第1章 3・11を忘れない